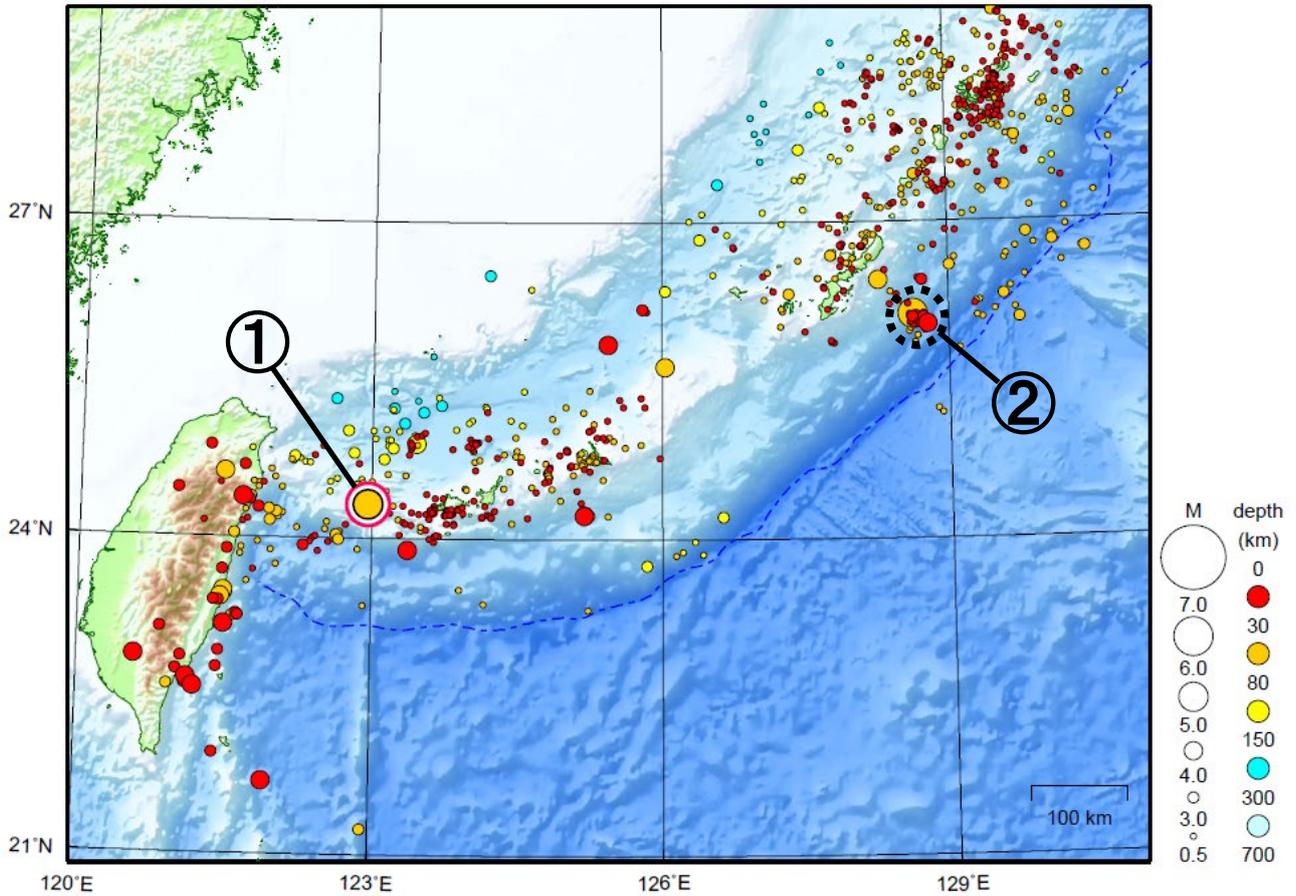


# 沖縄地方

2023/04/01 00:00 ~ 2023/04/30 24:00



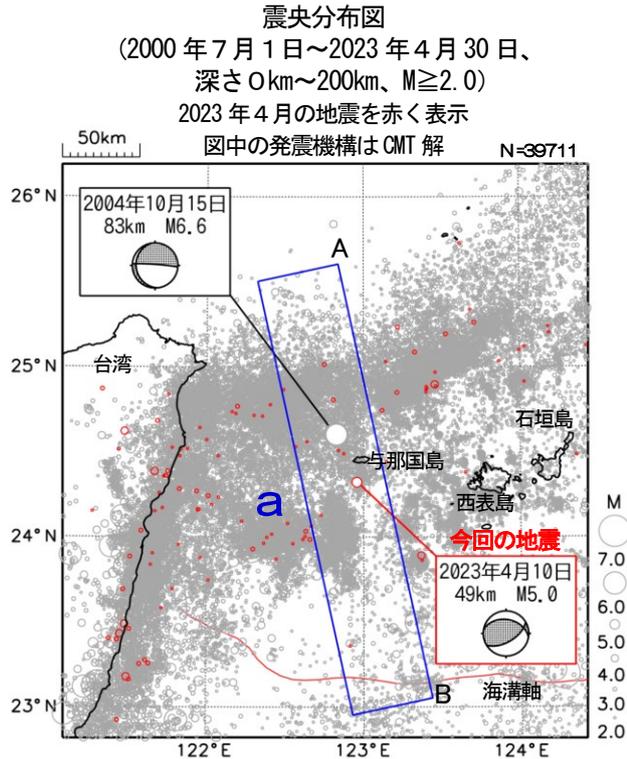
地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 4月10日に与那国島近海でM5.0の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 沖縄本島近海では4月27日から地震活動が活発になり、4月27日から5月7日までに震度1以上を観測した地震が8回（震度2：3回、震度1：5回）発生した。このうち最大規模の地震は、5月1日に発生したM6.4の地震（最大震度2）である。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

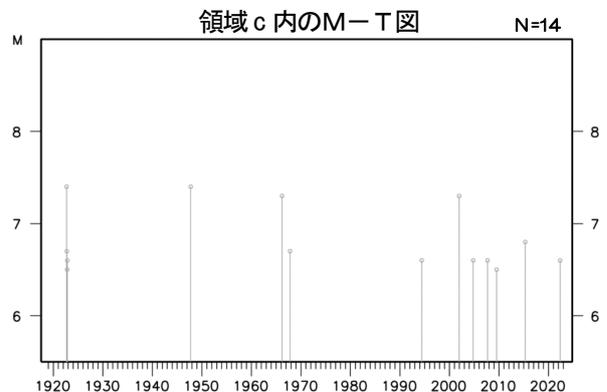
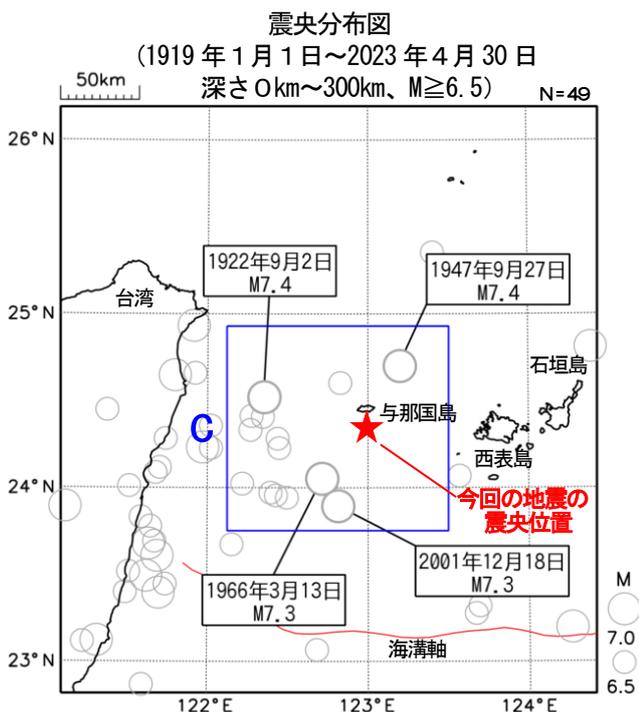
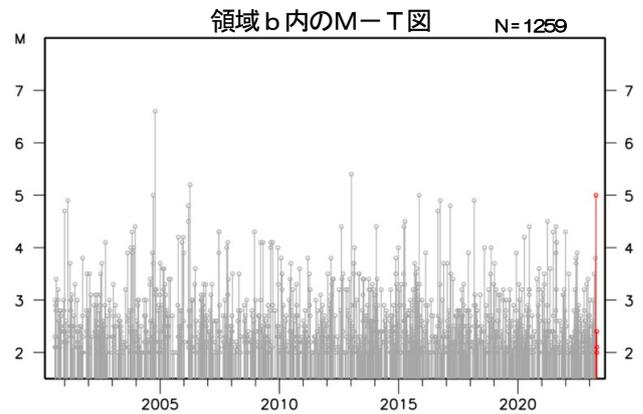
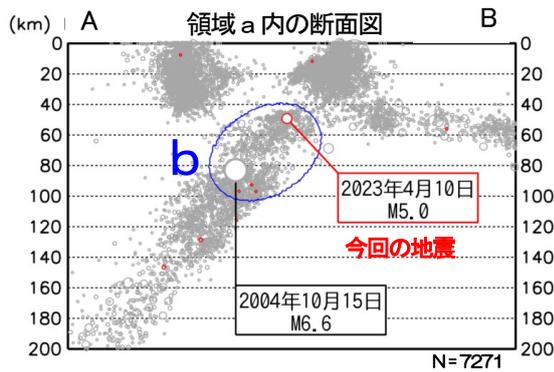
# 4月10日 与那国島近海の地震



2023年4月10日03時45分に与那国島近海の深さ49kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

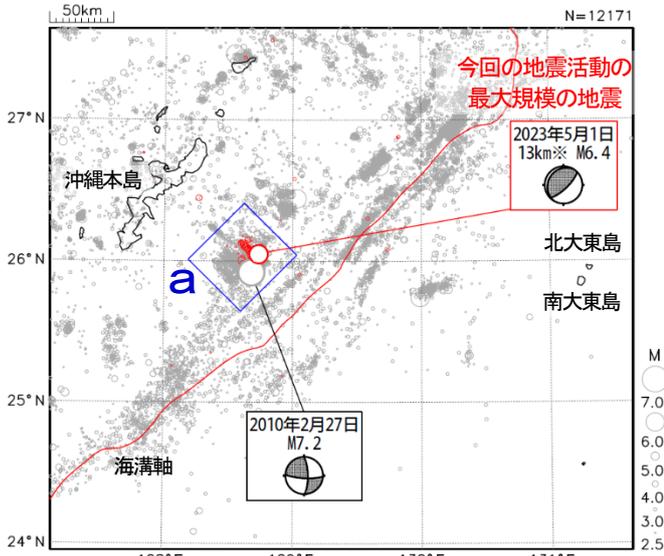
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2004年10月15日にM6.6の地震(最大震度5弱)が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が4回発生している。1947年9月27日に発生したM7.4の地震(最大震度5)では、石垣島で死者1人、西表島で死者4人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。1966年3月13日に発生したM7.3の地震(最大震度5)では、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟、半壊3棟などの被害が生じ、沖縄・九州西海岸で小津波が観測された(被害及び津波の観測は「日本被害地震総覧」による)。2001年12月18日に発生したM7.3の地震(最大震度4)では、与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波が観測された。



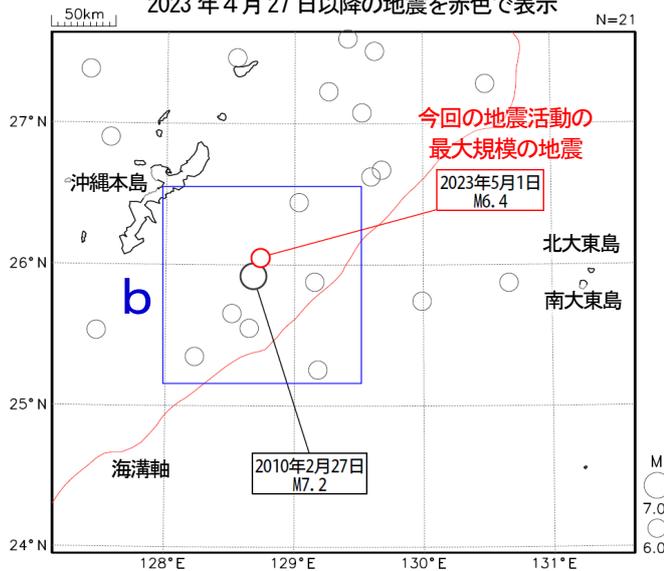
# 沖縄本島近海の地震活動

震央分布図  
(2000年7月1日～2023年5月7日、  
深さ0km～90km、 $M \geq 2.5$ )  
4月27日以降の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による

震央分布図  
(1919年1月1日～2023年5月7日、  
深さ0km～200km、 $M \geq 6.0$ )  
2023年4月27日以降の地震を赤色で表示

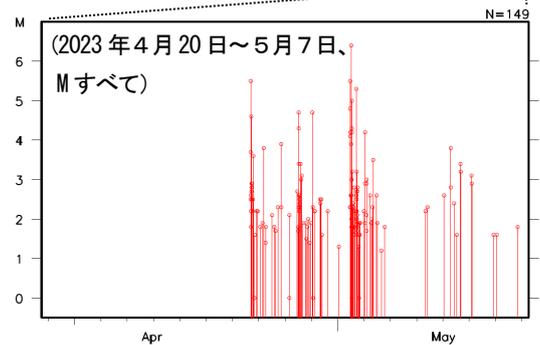
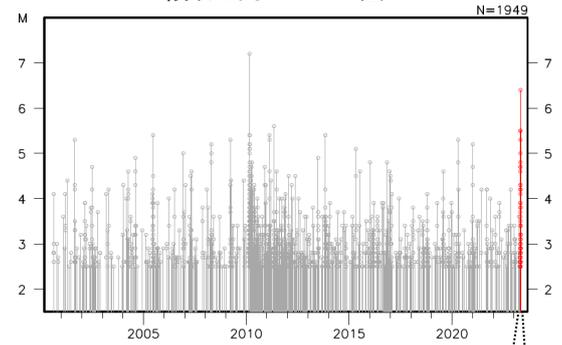


2023年5月1日12時22分に沖縄本島近海の深さ13km（CMT解による）でM6.4の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震央付近（領域a）では、4月27日から地震活動がやや活発になり、4月27日から5月7日までに震度1以上を観測する地震が8回（震度2：3回、震度1：5回）発生した。

2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近（領域a）では、2010年2月27日にM7.2の地震が発生し、軽傷者2人、住家一部損壊4棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、この地震により南城市安座真で13cm、南大東島漁港で3cmの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時折発生している。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

